

1. 2018 年度報告

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連) － 2020 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況等 － ① 高大接続テスト 2020 年度に実施のための検討・準備 早稲田大学進学後に学術・研究の途を進むにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト 2020 年度 3 学年在籍生徒対象に実施決定 実施教科：国語・数学・英語（4 技能外部試験 GTEC Advanced 活用） ② 英語 4 技能外部試験 GTEC Advanced 2019 年度は 2 年生で実施のための検討・準備 2019 年度 2 年生全員対象に実施見込み
(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連) － グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況等 － ① グローバルリーダー育成に向けた特色ある英語授業講座「英語応用」の開発・実施準備 「英語応用」（2 年文系コース選択 2 単位） 英語について高い能力と意欲を有する生徒に、さらにその能力を育成・伸張する授業を開発し提供し、大学入学の早い段階で、ダブル・ディグリー・プログラムや留学に挑戦できるようにすることを目指す授業プログラム・クラス編成の検討と準備を進めた。 2018 年度中にプログラム開発・テキスト発行・試行と PDCA による修正・改善を実施 2019 年度少人数クラス編成で完全実施決定。 ② グローバルリーダー育成に向けた特色ある英語授業講座「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」の開発・実施準備 「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」(3 年必修 1 単位) 生徒全員の英語運用力の向上を目指し、「英語運用力（アウトプットを主とした英語力）」を向上させる授業プログラム開発とクラス編成の検討と準備を進めた。 2019 年度「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」(3 年必修 1 単位) をクラス分割編成（1 クラス約 20 名）による少人数クラスにて「アカデミック・プレゼンテーション」構築の授業として実施決定。 ③ 第二外国語のグローバル化に対応した授業デザイン作成 グローバル化に対応した外国語教育推進事業およびスーパーグローバルハイスクール拠点校として、グローバル化に対応する「フランス語の学習指針」の策定と実施に重要な役割を果たすとともに新たな第二外国語の授業デザインの構築と実践を進めた。
(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連) － 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況等 － ① 研究年誌 63 号発行 特定課題研究の促進とサポート
(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連) ① 1 年間の留学期間を含んで 3 年間で卒業できる留学制度（二種留学）が周知され活用が促進し、二種留学

生徒が倍増した。

2018年度1年間で二種留学制度を利用した1年間の留学者が4名となり、前年度から倍増した。また、その他の通常の留学制度（一種留学）利用者も含め、1年間の留學生徒は10名となった。

②2018年度までに学術協定締結校7・機関2

2019年度に新たに学術協定を締結するべく、ロクロワ高等学校（フランス）と調整を進めた。

（締結年度順）

国立政治大学附属高級中学校（台湾）

日仏高等学校ネットワークコリブリ（フランス）

ゲーテ・インスティテュート（ドイツ）

ハナ高等学校（韓国）

サンクトペテルブルク国立学校 583（ロシア連邦）

ザビエルカレッジ（オーストラリア）

セントポールカレッジ（オーストラリア・シドニー）

北京大学附属高級中学（中国）

ラインガウギムナジウム（ドイツ）

③短期留学・研修等派遣生徒 74名

④受け入れ年間留学生・短期受け入れ留学生・受け入れ交流訪問・外国人来校者等 148名

⑤スーパーグローバルハイスクール最終年度事業として、2018年9月27日から10月4日にかけて生徒10人の参加のもと、イギリスロンドンにて、社会問題研修（移民・難民問題、Brexit 問題などについて）を実施した。

（５）その他

－（１）～（４）に該当しない、学術院独自の戦略・プロジェクト等－

ライフ・デザインの構想による主体的進路創造と高大接続を充実する取り組み

学部選択を含む進路・目的意識を喚起し、主体的な進路創造に取り組める環境と機会を充実させた。

OB・社会人による講演等の充実するとともにライブラリー化に着手した。

「大学1年生プレゼンテーション」（新入生オリエンテーションにて実施）

「ライフ・デザイン講演会」（研究者OBによる6月1年生全員対象）

「進路講演会」（社会人OB約20名による5月3年生対象）

「社会人OBによるグローバル社会と学院をテーマにしたパネルディスカッション」（11月生徒・保護者対象）

②各学術院との連携強化と高大接続の具体策を実践・拡充する取り組みを拡充した。

ライフ・デザインの取り組みと合わせ相乗的に進路・目的意識の喚起と具体的なキャリア・コースについて認識を深める機会を拡充した。また、各学部との情報共有を基礎に、学部進学後の学習・生活の充実と成長に資する方策の分析と協議に着手した。

「モデル講義」（各学部5月）

「進路説明会」（理工3学部6月・その他学部9月）

「学部WEEK」を創設し、学部の研究内容や特徴・魅力などについて展示・掲示・動画の配信などを通じて日常的に理解を深める機会とした。

「大学設置のオープン科目」の受講の拡充

「各学部のご協力による連携授業」の継続・拡充

（大学準備講座：法学部「法学特論」政治経済学部「経済学・政治学特論」商学部「ビジネス入門」など）

「首都圏オープン」開催

首都圏高校の理系生徒による発表と第一線の研究者による評価と講評の機会となる首都圏オープンを理工 3 学部の支援を得て高等学院主催で開催した。

③」社会・社会人との連携・協働を推進

「nendo 留学」実施

デザイン・オフィスへの高校生版インターンシップを実施した。

2. 2019 年度計画

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－ 2020 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況等 －

① 高等学院「高大接続テスト」(早稲田大学進学後に学術・研究の途を進むにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト) の 2020 年度円滑実施のための準備を進める。

2020 年度第 3 学年在籍生徒対象に実施

実施教科：国語・数学・英語 (4 技能外部試験 GTEC Advanced 活用)

② 英語 4 技能外部試験 GTEC Advanced 2019 年度中に 2 年生を対象に実施する。

試験に関わるフィードバックと主体的な目標設定のサポートに配慮して円滑かつ有効な実施と活用を進める。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－ グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画 －

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等 －

高等学院創立 75 周年を目標とした Waseda Vision 150 高等学院グローバル化推進計画



新制高等学院創立 75 周年の 2024 年度を目途に、次のキーワードと重点項目に基づき 2019 年度を初年度として 5 年度にわたる高等学院グローバル化推進計画を策定し、2019 年度から 2024 年度までの 5 年度間の年度ごとの目標を設定して取り組み内容を決定するとともに既年度ごとの評価を箇所内議論において着実に積み上げ、各種取り組みを推進する。

→ 未知の問題に新しい解 (仮説) を提起する知的・実践的な挑戦に向かう「逞しい知性」と「しなやかな感性」を具現する世界に輝く学生を育成する高等学院教育を確立する。

重点項目

①シラバス改革

講座の到達目標として獲得される能力（知識・技能）とその能力が活用され得る領域（研究・学問領域）を具体的に明示し、主体的な学習へ導く。到達目標を達成する教育方法・プログラムを研究・開発して明示するシラバス改革を進める。

②研究と学問への導入と進路（進学学部・分野）決定が合致するカリキュラム構造の確立

研究力を有し現に研究を志向する教員 1 人 1 人の講座とそうした教員との関わりに加え、各種の高大接続事業との関わりが、大学での研究・学問への導入と進学動機付けとなるカリキュラム構造を確立する。

③グローバル化推進

高等学院創立 75 周年（2024 年度）グローバル化推進達成目標

学術交流協定締結校 11 新規 3 校 フランス・イギリス・アメリカ

（2017 年度まで 7：台湾・韓国・中国・オーストラリア 2・ロシア・ドイツ）

協定機関 3 新規 1 アメリカ

（2017 年度まで 2：フランス コリブリ・ドイツ ゲーテ）

プログラム 6 新規 3 アメリカ 2 イギリス 1

（2017 年度まで 3：韓国・オーストラリア 2）

派遣人数 1 年留学 20（2017 年度 11）短期留学・派遣 80（2017 年度 71）合計 100

受け入れ人数 200（1 年・短期・来訪合計）

（2018 年度受け入れ人数 148）

外国大学への進学可能性を拡充するシステムの構築

④創立 75 周年を目途とした高等学院グローバル化推進計画に適合する新校舎（第三期工事）の完遂

高等学院教育の特色をなす理科実験教室、生徒と教員をより親しいものとするとともに中・高接続をより円滑なものとする教員室、主体的かつ協働的な学習を促進するラウンジ機能を有する食堂、国際会議や国際フォーラムを開催できる会議室を備え、上記重点項目（シラバス改革・ライフデザイン構築・研究への導き）を実現するに相応しい新校舎（第三期工事）を竣工する。

計画策定と実行

毎年度 5 月

シラバス改革・カリキュラム構造確立、協定校開拓、国際プログラム開発、留学生・派遣生徒数の数値目標実現に向けた箇所内議論と立案

毎年度 9 月

上記計画に必要な予算を箇所内議論を経て教務部と調整・申請

以上